

全国大学ビブリオバトル 2022
～ファイナルステージ in 浦安～
予選会実施報告書

全国大学ビブリオバトル予選事務局

目次

全国大学ビブリオバトルレギュレーション.....	1
1 開催概要.....	2
1-1 本戦 開催概要.....	2
1-2 地区決戦 開催概要.....	2
1-3 地区予選 開催概要.....	5
1-4 オンライン開催の要件.....	7
1-5 地区予選・地区決戦 開催団体一覧.....	8
2 地区予選・地区決戦 開催報告.....	13
2-1 地区予選報告.....	14
2-2 地区決戦報告.....	20
3 本戦 開催報告.....	24
4 第13回全国大学ビブリオバトル本戦レポート.....	28
5 記録.....	37
5-1 ちらし・ポスター素材.....	37
5-2 メディア掲載.....	39
5-3 地区予選・地区決戦主催団体 広報ウェブサイト.....	39
ビブリオバトル普及委員会のご案内.....	40

全国大学ビブリオバトルレギュレーション

前文：

地区予選、地区決戦、本戦すべてのビブリオバトル開始前に、司会者がビブリオバトル公式ルールおよび以下の全国大学ビブリオバトルレギュレーション（1～10）を読み上げ、ビブリオバトルの趣旨を参加者に周知してください。

1. 本やエピソードを紹介するための小道具の使用は認める。
2. レジユメの配布は禁止とする。
3. 読み上げレジユメの持ち込みは禁止とする。ただし、本へのメモ書きや付箋の添付などは認める。
4. パワーポイントやキーノートなどの、プレゼンテーションツールの使用は禁止とする。
5. 発表の際、発表参加者は必ず5分間を使い切ること。
6. 発表後のディスカッションでは、発表内容の批判などはせず、発表で分からなかった点の追加説明を求めたり、「どの本が一番読みたくなったか？」の判断をするための材料について質問すること。
7. 投票の基準は、「どの本が一番読みたくなったか？」であり、知り合いや身内の応援といった理由で投票を行わないこと。
8. 投票権は、すべての発表を聞いた参加者にのみ与えられる。
9. 司会者は10の場合を除き、投票には参加しない。
10. チャンプ本が複数となった場合は、決選投票を行う。その際、司会者1名の票を1/2票として加える。

1 開催概要

1-1 本戦 開催概要

名称：全国大学ビブリオバトル 2022～ファイナルステージ in 浦安～
(第 13 回全国大学ビブリオバトル)

日時：2022 年 12 月 25 日 (日) 12:00 開会

場所：明海大学 (千葉県浦安市)

主催：活字文化推進会議

共催：一般社団法人ビブリオバトル協会、ビブリオバトル普及委員会

主管：読売新聞社

公式ウェブサイト：https://zenkoku.bibliobattle.jp/univ_bibliobattle

公式ツイッターアカウント：@bibliozenkoku

主催者ウェブサイト：<https://katsuji.yomiuri.co.jp/archives/category/college/>

1-2 地区決戦 開催概要

地区決戦は「全国大学ビブリオバトル 2022～ファイナルステージ in 浦安～」に進む出場者を決めるビブリオバトルのイベントである。地区決戦主催団体は「全国大学ビブリオバトル 2022〇〇地区決戦」のクレジットの下で、地区決戦を開催する。

主催：各地区決戦主催団体・個人

後援：活字文化推進会議、一般社団法人ビブリオバトル協会、ビブリオバトル普及委員会、
他（後援、協賛等を各団体で獲得することは自由とする）

開催日時：原則 2022 年 10 月 15 日～11 月 23 日の期間で地区決戦主催団体の定める日

開催地区：地区決戦主催団体応募状況に応じ、ブロック割りを全国大学ビブリオバトル予選事務局が決定する

最大で 36 ブロックを上限とする

一つの地区の境界は都道府県境を一つの基準とするが、必ずしも他県からの参加を拒むものではなく、また、複数県で一つの地区をつくる場合もある

出場資格：各地で開催される地区予選を勝ち抜いた者

交通費補助：地区決戦出場者には、条件付きで交通費を補助する

<地区決戦主催団体の役割>

① 本戦出場者の決定

「全国大学ビブリオバトル 2022」地区決戦の運営を行い、本戦出場者を決定する。予選事務局の示す地区決戦開催要項を十分尊重しながら、地区の状況を踏まえ、ビブリオバトルの普及に役立つ形での運営を心がける。地区決戦の開催については、ビブリオバトル公式ルール、ならびに全国大学ビブリオバトルレギュレーションを遵守する。

② ブロック内の地区予選主催者との連携

全国大学ビブリオバトル予選事務局の窓口として、ブロック内で開催される地区予選主催者と連携し、出場者への通知などの対応を行う。また、ブロック内で開催された各地区予選情報を把握する。

③ 予選事務局との連携

ブロック内の状況を逐次、予選事務局に報告する。また、地区決戦終了後はすみやかに地区予選・地区決戦の報告を予選事務局に行う。

<地区決戦主催団体 募集期間>

2022年（第1次締切）7月18日（月・祝）、（第2次締切）8月7日（日）
（第3次締切）8月31日（水）

<地区決戦 開催要項>

1. 地区決戦主催者は、期間内（原則：10月15日～11月23日）に地区決戦を開催し、その結果について下記の内容をすみやかに予選事務局に報告する。

①主催情報

メールアドレス、ブロック、主催団体名、ご担当者名

②地区決戦情報

地区決戦開催日、開催方法、地区決戦会場、地区決戦開催形式、地区決戦の階層数、地区決戦発表参加者数、

③地区決戦チャンプ本獲得者情報

チャンプ本（書誌名、著者名、出版社名）、チャンプ本獲得者氏名、所属大学名・学部・学年、メールアドレス、連絡先電話番号、得票数

④得票数が次点、3番手の発表参加者情報

紹介本、氏名、所属大学名、得票数

⑤チャンプ本、得票数次点、3番手以外の発表本情報

最終的に本戦出場者1名を決定したビブリオバトル（1ゲーム）で発表された書籍名・著者名

地区決戦をオフライン開催にするかオンライン開催にするかは問わない。

*ハイブリッドの開催も認める。

オフライン開催：原則参加者が実在する会場に集まり、対面環境で行う開催

オンライン開催：原則参加者がZoom、Google Meet、Teams等を用いて、インターネット上の会場に集って行う開催

オンライン開催の場合、オンライン開催の要件も遵守する。

2. 地区決戦進出者を決める地区予選が地区内で3回以上開催される。開催規定は地区予選開催要項に従う。この開催は地区決戦と同日開催でも構わない。

3. 担当するブロックでの地区予選開催者と連絡を取り合い、地区決戦に支障のない運営に取り組む。地区決戦に関わる出場者への通知など、ブロック内で開催される地区予選開催者への対応も含まれる。また、地区決戦の開催情報を事前に予選事務局に報告する。

4. 担当するブロックで他の団体が地区予選を開催することを奨励し、地区決戦が盛り上がるように心がける。
5. 担当するブロックのすべての地区予選でのチャンプ本獲得者を、地区決戦の参加者として受け入れる。地区決戦出場者が多数になった場合、地区決戦のなかで準決勝→決勝のように階層を分けることは可能とする。
6. 地区決戦主催団体が、独自に遠方からの参加者の補助を行うことは自由とする。
7. 地区決戦主催団体の中で、必ず 1 名はビブリオバトル普及委員会に入会している。
8. 地区決戦の様子は終了後、本戦当日までの間にブログ又はウェブサイトなどを通して発信する。また、それが「全国大学ビブリオバトル 2022」の地区決戦であることを明記する。
9. 地区決戦主催団体が個別に協賛等を得ることは自由とする。
また、地区決戦は、活字文化推進会議、一般社団法人ビブリオバトル協会、ビブリオバトル普及委員会が後援する。

主催：各地区決戦主催団体

後援：活字文化推進会議、一般社団法人ビブリオバトル協会、ビブリオバトル普及委員会

10. 本大会の個人情報の取扱いの指針に同意し、協力する。
11. 地区決戦はビブリオバトル公式ルール、および全国大学ビブリオバトルレギュレーションに則り開催する。
特に、ルールの補足についてもよく理解し、開催の際に必ずビブリオバトルの趣旨を観客も含めた参加者全員に周知する。
12. 地区決戦では紹介される本にテーマを設定することは不可とする。地区予選でのテーマの設定は自由とする。

<地区決戦交通費補助>

- ① 参加した地区予選会場から地区決戦会場までの鉄道区間の交通費が往復 3,000 円以上かかる出場者に限り、その半額（但し、自己負担上限額を 5,000 円とする）が予選事務局より補助される。
- ② 地区予選開催後、該当する地区決戦出場者へ、予選事務局より申請について案内する。
- ③ 支給は、予選事務局より出場者の金融機関口座へ直接振り込む。

* 地区決戦がオンライン開催の場合、交通費の補助はない。

1-3 地区予選 開催概要

地区予選は、「全国大学ビブリオバトル 2022〇〇地区決戦」に進む出場者を決めるビブリオバトルのイベントである。

主催：各地区予選主催団体・個人

開催日時：原則 2022年6月～11月（もしくは地区決戦主催団体の定める期限内）

出場資格：大学生・大学院生*

*大学生相当年齢の高専生、専門学校生を含む。

*社会人大学生・大学院生、履修生等は年齢問わず参加資格があるものとする。

*その年度の9月卒業生も含む。

<地区予選主催団体の役割>

①地区決戦出場者の決定

地区予選の運営を行い、各地区予選会場から地区決戦出場者を1名決定する。予選事務局の示す地区予選開催要項を十分尊重しながら、ビブリオバトルの普及に役立つ形での運営を心がける。地区予選の開催については、ビブリオバトル公式ルール、ならびに全国大学ビブリオバトルレギュレーションを遵守して行う。

オンライン開催の場合、オンライン開催の要件も遵守する。

②該当ブロックの地区決戦主催者との連携

該当ブロックでの地区決戦主催者と連携し、出場者への通知などの対応を行う。また、地区予選終了後はすみやかに地区予選の結果報告を地区決戦主催者および予選事務局に行う。

③地区決戦出場者の交通費補助申請

地区予選から選出した地区決戦出場者には条件付きで交通費補助がある。地区予選主催団体は交通費補助の規定に該当するかどうかを確認し、予選事務局へ報告する。

<地区予選主催団体 募集期間>

2022年6月3日～11月（もしくは地区決戦主催団体の定める期日まで）

<地区予選 開催要項>

1. 原則 6月～11月（もしくは地区決戦主催団体の定める期日まで）の期間に「全国大学ビブリオバトル 2022」の予選会となるビブリオバトルを開催し、地区決戦出場者を決定する。

2. 地区予選は事前に告知を行い、外部からの参加希望者も参戦できるようにする。

尚、開催要項3のB.9名以上の発表参加者による二階層以上での地区予選はクローズでの開催を認める。

9人未満での講義内での開催などで、やむを得ずオープン開催ができない場合は事前にその旨を予選事務局に届け承認を得る。

また、開催前に予選事務局および地区決戦主催団体まで開催日時・場所・告知ウェブサイトなどについて報告する。

少なくとも1週間前までが望ましい。

オープン開催：複数の大学・専門学校の学生が出場可能な開催

クローズ開催：出場者を特定の1つの大学・専門学校の学生に制限する開催

3. 開催するビブリオバトル地区予選は以下 A または B のような会とする。(どちらかを選択可)

A. 原則として3名以上の発表参加者かつ観覧参加者と発表参加者の合計が8名以上と
なることが見込まれる地区予選

B. 原則として9名以上の発表参加者による、二階層以上の地区予選

なお、Bの形式を採用する場合はクローズの開催を認める。

A、Bともに、発表参加者は大学生・大学院生(*1)に限定する。

(*1)

*大学生相当年齢の高専生、専門学校生を含む。

*社会人大学生・大学院生、履修生等は年齢問わず参加資格があるものとする。

*その年度の9月卒業生も含む。

4. すでに他の地区予選でチャンプ本を獲得した者以外であれば、複数回地区予選に出場することも可能とする。ただし、同一の主催者が開催する地区予選に、同じ学生が複数回出場することは不可とする。

5. 原則1ゲーム、1ファイナリストとする。

6. 1つの地区予選開催者が複数の地区予選を開催した場合は、地区予選の数だけ地区決戦へチャンプ本獲得の学生を輩出できるが、必ず公平を期した運営を行い、地区予選の情報については、開催毎に地区決戦主催団体へ報告を行う。

7. 地区予選終了後、下記の内容をすみやかに地区決戦主催団体まで報告する。

① 地区予選主催者情報(ブロック名、主催団体名、担当者名)

② 地区予選情報(開催日、開催方法、地区予選会場)

③ 地区予選の中で行われたビブリオバトルの階層数(一階層または2階層以上)

④ 発表参加者数(地区決戦出場者1名を決定したビブリオバトル(1ゲーム)のバトラー数)

⑤ 発表参加者数(2階層以上の地区予選を行った場合、下位予選に出場したバトラー数の合計)

⑥ 発表参加者以外(視聴参加者)の参加者数(およそで構わない)

⑦ 参加学校名(すべて(発表参加者))

⑧ チャンプ本獲得者(地区決戦進出者)情報

・氏名(ふりがな)

・学校名、学部、学年

・連絡先電話番号

・連絡先メールアドレス(PCアドレス)

・地区決戦会場への交通費補助の対象に該当するかどうか

・チャンプ本情報(書籍名、作者名)

⑨ チャンプ本以外の紹介本情報(書籍名、著者名)

8. 地区予選申込み後、本要項を満たす開催が困難であると予想される場合は、すみやかに予選事務局、および地区決戦主催団体に連絡する。
9. 地区予選の様子は終了後、本戦当日までの間にブログ又はウェブサイトなどを通して発信する。詳細な形式は問わない。また、それが「全国大学ビブリオバトル2022」の地区予選であることを明記する。
10. 本大会の個人情報の取扱いの指針に同意し、協力する。
11. 地区予選は公式ルール、および全国大学ビブリオバトルレギュレーションに則り開催する。特に、ルールの補足についてもよく理解し、開催の際に必ずビブリオバトルの趣旨を観客も含めた参加者全員に周知する。
12. 紹介する本にテーマを設定しても構わない。地区決戦ではテーマの設定は不可とする。

1-4 オンライン開催の要件

1. 原則、発表時及びディスカッション時（ビブリオバトル公式ルール2. と3. に相当）、発表を行う参加者の映像・音声を、参加者全員が視聴できる状態である。但し、通信状況や通信機器のトラブル等による一時的な映像・音声の中断は認める。
2. 発表参加者側の通信環境が原因で発表・ディスカッションが中断された場合、原則発表・ディスカッションのやり直しは行わない。
3. 発表参加者が画面共有機能を使用することは不可とする。
4. ディスカッション時、質問をチャット機能などを用いてテキスト形式で募集しても構わない。但し、その場合参加者は原則質問や感想、回答等をディスカッションの時間内のみ送信できることとする。

1-5 地区予選・地区決戦 開催団体一覧

表 1-1. 地区予選・地区決戦 開催団体一覧

ブロック	団体名
東北 地区決戦主催団体：海辺の図書館	
東北	ノキシタビブリオ
東北	岩手県立大学メディアセンター
東北	東北大学附属図書館
東北	郡山女子大学図書館
東北	盛岡大学図書館
関東 A 地区決戦主催団体：茨城県ビブリオバトル実行委員会	
関東 A	常磐大学学生支援センター
関東 A	茨城キリスト教大学
関東 A	茨城女子短期大学
関東 A	筑波大学ビブリオバトル実行委員会
関東 A	茨城大学図書館
関東 B 地区決戦主催団体：帝京大学メディアライブラリーセンター	
関東 B	帝京大学 共読サポーターズ
関東 B	千葉大学ビブリオバトル開催委員会 B
関東 B	文教大学越谷図書館学生協働サポーター ほんだな係
関東 C 地区決戦主催団体：株式会社紀伊國屋書店	
関東 C	主催：群馬県内大学生 共催：群馬県大学図書館協議会
関東 C	城西大学水田記念図書館
関東 C	青山学院大学 万代記念図書館
関東 C	帝京大学メディアライブラリーセンター
関東 C	千葉大学ビブリオバトル開催委員会 C

中部内陸 地区決戦主催団体：山梨英和大学附属図書館	
中部内陸	図書館サークル Libropass
中部内陸	山梨英和大学附属図書館 A
中部内陸	山梨英和大学附属図書館 B
東海 A 地区決戦主催団体：皇學館大学ビブロフィリア	
東海 A	皇學館大学岡野ゼミ
東海 A	皇學館大学ビブロフィリア A
東海 A	皇學館大学ビブロフィリア B
北陸 地区決戦主催団体：金沢大学附属図書館	
北陸	金沢大学附属図書館 A
北陸	金沢大学附属図書館 B
北陸	金沢大学附属図書館 C
関西 A 大阪工業大学知的財産学部／大阪工業大学ビブリオバトルサークル 共催	
関西 A	【3 団体共催】大阪工業大学知的財産学部水野ゼミ、 水野ゼミの本屋、大阪工業大学ビブリオバトルサークル
関西 A	阪大ビブリオバトル
関西 A	大阪工業大学知的財産学部、大阪工業大学ビブリオバトルサークル 共催
関西 A	阪ビブ出版部
関西 B 地区決戦主催団体：大阪経済大学図書館	
関西 B	大阪電気通信大学四條畷キャンパス図書館
関西 B	大阪成蹊大学図書館
関西 B	四天王寺大学図書館 A
関西 B	大阪経済大学図書館
関西 B	大阪成蹊短期大学図書館
関西 C 地区決戦主催団体：龍谷大学図書館ライブラリーサポーター	
関西 C	大阪電気通信大学寝屋川キャンパス図書館

関西 C	四天王寺大学図書館 B
関西 C	龍谷大学ライブラリーサポーター
関西 C	龍谷大学深草図書館
関西 D 地区決戦主催団体：生駒市図書館、生駒ビブリオ倶楽部	
関西 D	摂南大学図書館学生サポーター
関西 D	生駒市図書館、生駒ビブリオ倶楽部
関西 D	帝塚山大学文学部フミヨミプロジェクト
関西 D	四天王寺大学図書館 C
関西 D	奈良県立大学 uBi
中国 A 地区決戦主催団体：島根県立大学松江キャンパス学生図書委員会	
中国 A	島根県立大学松江キャンパス図書館
中国 A	島根県立大学浜田キャンパス図書館学生図書委員
中国 A	島根県立大学松江キャンパス図書館学生図書委員会
中国 B 地区決戦主催団体：広島県大学図書館協議会	
中国 B	福山大学附属図書館
中国 B	広島工業大学附属図書館
中国 B	広島市立大学附属図書館
中国 B	広島大学図書館
四国 A 地区決戦主催団体：愛媛地区大学図書館協議会 ビブリオバトル愛媛地区決戦実行委員会事務局	
四国 A	愛媛大学「メディアを知ろう in 愛大」
四国 A	愛媛県立医療技術大学 A
四国 A	愛媛県立医療技術大学 B
四国 A	松山大学図書館・松山大学生生活協同組合 A
四国 A	松山大学図書館・松山大学生生活協同組合 B

四国 B 地区決戦主催団体：阿波ビブリオバトルサポーター	
四国 B	阿波ビブリオバトルサポーター
四国 B	鳴門 SF ミーティング
四国 B	まちライブラリー・ビブリオラボとくしま 共催：阿波ビブリオバトルサポーター
九州 A 地区決戦主催団体：鎮西学院大学附属図書館	
九州 A	鎮西学院大学附属図書館
九州 A	鎮西学院大学ぶっく倶楽部
九州 A	鎮西学院大学 菅原ゼミ
九州 A	鎮西学院大学 佐藤ゼミ A
九州 A	鎮西学院大学 佐藤ゼミ B
九州 B 地区決戦主催団体：福岡女子短期大学	
九州 B	日本赤十字九州国際看護大学図書館運営委員会
九州 B	北九州市立大学図書館
九州 B	福岡女子短期大学文化教養学科 A
九州 B	福岡女子短期大学文化教養学科 B
九州 C 地区決戦主催団体：鹿児島大学附属図書館	
九州 C	鹿児島大学附属図書館 A
九州 C	鹿児島大学附属図書館 B
九州 C	鹿児島大学附属図書館 C
全国 A 地区決戦主催団体：一般社団法人ビブリオバトル協会	
全国 A	千葉大学ビブリオバトル開催委員会 A
全国 A	宮崎大学附属図書館学生サポーター
全国 A	大東文化大学図書館
全国 A	九州女子大学 人間生活学科
全国 B 地区決戦主催団体：一般社団法人ビブリオバトル協会	
全国 B	鳥取大学 学生図書館ワーキンググループ

全国 B	聖学院大学総合図書館／図書館サポーター「セラエノ」 共催
全国 B	個人開催 小野憲史
全国 C 地区決戦主催団体：ビブリオバトル北海道	
全国 C	北海学園大学人文学部田中綾ゼミ
全国 C	近畿大学 KDIX
全国 C	中部学院大学
全国 C	北海道情報大学 坂本研

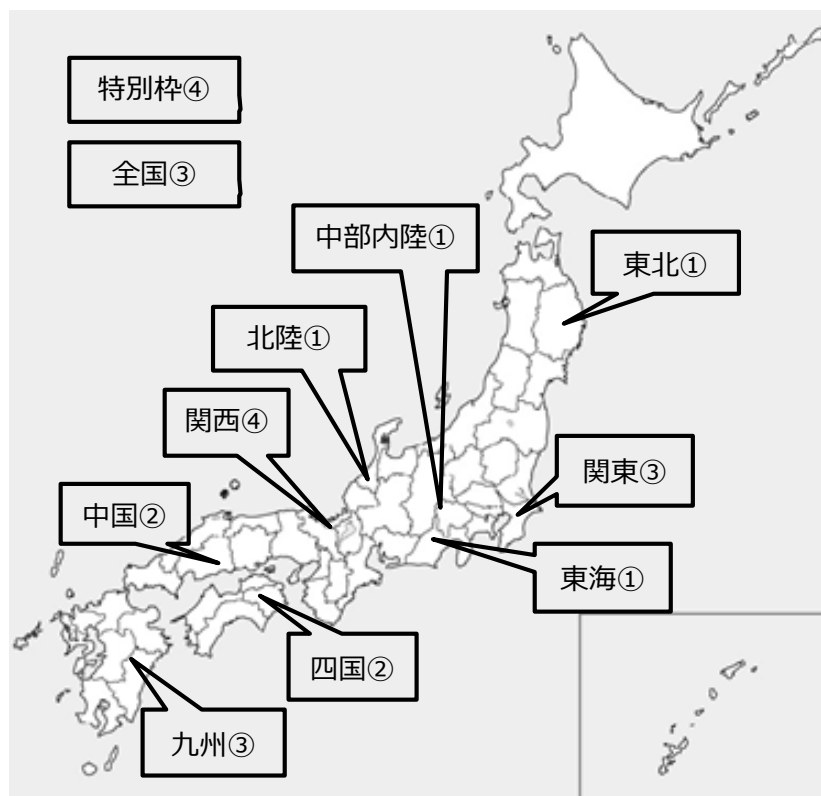


図 1-1. 各地区の本戦参加枠数配分

2 地区予選・地区決戦 開催報告

2022年は前年度と同様の本戦主催体制で、地区予選・地区決戦主催団体の募集を7月にスタートし、本戦の12月に向けてほぼ半年間をかけて、地区予選・地区決戦を開催した。また、前大会に続き「特別枠制度※」を実施し、本戦発表は25名が参加した。過去の情報を含めた地区予選・地区決戦および本戦の各参加数を表2-1に示す。

表 2-1. 地区予選・地区決戦および本戦 参加数

年度	予選会* ¹ 開催数	予選会 発表 参加者数* ²	予選会 観客数 (おおよそ)	予選会 参加学校数	本戦 発表 参加者数	本戦 観客数* ⁴ (おおよそ)
2022年	104回	1,524名	2,234名	81校	25名	300名
2019年	293回	1,526名	5,450名	128校	36名	400名
2018年	223回	1,598名	4,597名	115校	36名	800名
2017年	209回	1,090名	5,044名	127校	36名	350名
2016年	228回	1,207名	5,600名	125校	29名	500名
2015年	181回	914名	4,500名	98校	30名	450名
2014年	180回	874名	4,400名	130校	30名	450名
2013年	177回	804名	4,000名	124校	30名	3,300名
2012年	132回	524名	2,400名	92校	32名	3,000名
2011年	32回	182名	950名	* ³ 32拠点	34名	1,600名
2010年	15回	53名	—	28校	20名	450名

*¹ 予選会は、地区予選・地区決戦の合計。

*² 発表参加者数は延べ人数。

*³ 2011年の参加学校数は36大学以上。

*⁴ 本戦観客数は2013年度までは延べ人数、2014年度以降は入場者数。

*2020年、2021年大会は、新型コロナウイルス感染症により中止され代替大会を開催。

※【特別枠（敗者復活枠・追加配分枠）について】

特別枠（敗者復活枠・追加配分枠）は、原則、以下の場合に本戦への出場枠を追加する。

・敗者復活枠 …… 本戦出場枠数に対する発表参加者数が他の地区に比べて多く、各発表参加者に不公平が生じると判断された地区へ新たに枠を与える。
原則、次点発表参加者が特別枠候補となる。

・追加配分枠 …… 一つの地区決戦主催団体が多くの地区予選を開催し、一地区として独立させることが妥当とされる場合や、地域全体の状況や全国の状況から新たに枠を与えるに値すると判断された場合、追加の枠を与える。

2-1 地区予選報告

各地区別の地区予選開催状況を表 2-2 に示す。ウェブサイト上で公開された各地の地区予選・地区決戦の開催の様子についてまとめた報告書は、公式ウェブサイトの記録ページにて公開している。(http://zenkoku.bibliobattle.jp/records2022)

表 2-2. 地区予選開催状況

ブロック	団体名	開催日	開催場所	発表者数 (名)	観客数 (名)
東北	ノキシタビブリオ	10/15	Open Village ノキシタ エンガワ離れ	4	3
東北	岩手県立大学メディアセンター	10/26	岩手県立大学 メディアセンター	6	10
東北	東北大学附属図書館	10/28	東北大学附属図書館	8	38
東北	郡山女子大学図書館	11/8	郡山女子大学 ラーニングコモンズⅡ	4	35
東北	盛岡大学図書館	11/12	岩手県立図書館	6	35
東北 ブロック 計				28	121
関東 A	常磐大学学生支援センター	10/7	常磐大学 H 棟 大講義室	4	14
関東 A	茨城キリスト教大学	10/18	茨城キリスト教大学図書館 2F ラーニングコモンズエ リア	5	21
関東 A	茨城女子短期大学	10/18	茨城女子短期大学視聴覚室	4	41
関東 A	筑波大学ビブリオバトル実行委 員会	10/24	Zoom	4	11
関東 A	茨城大学図書館	10/26	Zoom	4	23
関東 A ブロック 計				21	110
関東 B	帝京大学 共読サポーターズ	10/15	帝京大学メディアライブラ リーセンター	73	40
関東 B	千葉大学ビブリオバトル開催委 員会 B	10/25	千葉大学西千葉キャンパス 図書館	5	20
関東 B	文教大学越谷図書館学生協働サ ポーター ほんだな係	11/3	文教大学 越谷キャンパス	6	43
関東 B ブロック 計				84	103
関東 C	群馬県内大学生 共催：群馬県 大学図書館協議会	8/25	高崎商科大学	14	45
関東 C	城西大学水田記念図書館	10/5	城西大学水田記念図書館 および Zoom	4	52
関東 C	青山学院大学 万代記念図書館	10/8	webex meeting および万代記念図書館内	5	16

関東 C	帝京大学メディアライブラリーセンター	10/16	帝京大学メディアライブラリーセンター	4	37
関東 C	千葉大学ビブリオバトル開催委員会 C	10/25	千葉大学西千葉キャンパス図書館	4	21
関東 C ブロック 計				31	171
中部内陸	図書館サークル Libropass	10/29	都留文科大学 1号館 1302 教室	3	6
中部内陸	山梨英和大学附属図書館 A	10/26	山梨英和大学附属図書館	5	15
中部内陸	山梨英和大学附属図書館 B	10/26	Zoom	4	10
中部内陸ブロック 計				12	31
東海 A	皇學館大学 岡野ゼミ	10/27	皇學館大学 5号館 535 教室	5	10
東海 A	皇學館大学ビブロフィリア A	10/13	皇學館大学附属図書館 2階 ラーニングcommons	12	4
東海 A	皇學館大学ビブロフィリア B	11/15	皇學館大学附属図書館 2階 ラーニングcommons	4	5
東海 A ブロック 計				21	19
北陸	金沢大学附属図書館 A	10/21	金沢大学 総合教育棟 A1 教室	3	10
北陸	金沢大学附属図書館 B	11/7	金沢大学 総合教育棟 A1 教室	3	7
北陸	金沢大学附属図書館 C	11/17	金沢大学 総合教育棟 A1 教室	3	10
北陸ブロック 計				9	27
関西 A	大阪工業大学知的財産学部水野ゼミ、水野ゼミの本屋、大阪工業大学ビブリオバトルサークル	9/23	水野ゼミの本屋	3	8
関西 A	阪大ビブリオバトル	11/11	Zoom	6	4
関西 A	大阪工業大学知的財産学部、大阪工業大学ビブリオバトルサークル 共催	11/19	あべのハルカス近鉄本店 ウイング館 9階催会場	3	13
関西 A	阪ビブ出版部	11/20	文フリ東京 東京流通センター	3	9
関西 A ブロック 計				15	34
関西 B	大阪電気通信大学四條畷キャンパス図書館	10/28	大阪電気通信大学 四條畷キャンパス図書館内	4	13
関西 B	大阪成蹊大学図書館	10/28	大阪成蹊大学 大学内教室	262	10
関西 B	四天王寺大学 A	11/3	四天王寺大学図書館 コンピュータ室内	12	57
関西 B	大阪経済大学図書館	11/4	大阪経済大学図書館	5	18

関西 B	大阪成蹊短期大学図書館	11/10	大阪成蹊短期大学教室	507	49
関西 B ブロック 計				790	147
関西 C	大阪電気通信大学寝屋川キャンパス図書館	10/26	大阪電気通信大学寝屋川キャンパス A 号館 Student Lounge da Vinci (ダ ヴィンチ)	4	16
関西 C	四天王寺大学図書館 B	11/3	四天王寺大学図書館 コンピュータ室内	12	57
関西 C	龍谷大学ライブラリーサポーター	11/12	龍谷大学 深草キャンパス 22 号館 204 教室	3	5
関西 C	龍谷大学深草図書館	11/14	龍谷大学 深草キャンパス 和顔館 207 教室	3	6
関西 C ブロック 計				22	84
関西 D	摂南大学図書館学生サポーター	10/18	摂南大学寝屋川キャンパス 図書館 (本館) ラーニング コモンズ	3	14
関西 D	生駒市図書館、生駒ビブリオ倶楽部	10/23	生駒市図書館 第 2 研修室	5	9
関西 D	帝塚山大学文学部フミヨミプロジェクト	10/28	帝塚山大学 東生駒キャンパス 1 号館 1205 教室	6	30
関西 D	四天王寺大学図書館 C	11/3	四天王寺大学図書館 コンピュータ室内	12	57
関西 D	奈良県立大学 uBi	11/10	ミジンコブンコ	5	15
関西 D ブロック 計				31	125
中国 A	島根県立大学松江キャンパス図書館	7/25	島根県立大学松江キャンパス 図書館	4	15
中国 A	島根県立大学浜田キャンパス学生図書委員	10/20	島根県立大学浜田キャンパス 図書館	4	8
中国 A	島根県立大学松江キャンパス学生図書委員会	10/26	島根県立大学松江キャンパス 図書館	5	12
中国 A ブロック 計				13	35
中国 B	福山大学附属図書館	10/22	福山大学附属図書館	4	17
中国 B	広島工業大学附属図書館	10/26	広島工業大学 Nexus21 (10 階) スカイテリア	5	51
中国 B	広島市立大学附属図書館	10/29	広島市立大学附属図書館	8	22
中国 B	広島大学図書館	10/29	広島大学中央図書館ライブラリーホール	5	14
中国 B ブロック 計				22	104

四国 A	愛媛大学「メディアを知ろう in 愛大」	6/8	愛媛大学教育学部 103 教室	6	57
四国 A	愛媛県立医療技術大学 A	7/12	愛媛県立医療技術大学	53	50
四国 A	愛媛県立医療技術大学 B	7/12	愛媛県立医療技術大学	54	51
四国 A	松山大学図書館・松山大学生生活協同組合 A	6/16	松山大学樋又キャンパス H2A	9	24
四国 A	松山大学図書館・松山大学生生活協同組合 B	10/20	松山大学 8 号館 844 番教室	7	27
四国 A ブロック 計				129	209
四国 B	阿波ビブリオバトルサポーター	10/1	Zoom	4	5
四国 B	鳴門 SF ミーティング	10/30	トリーデなると	4	6
四国 B	まちライブラリービブリオラボとくしま	11/12	Zoom	4	8
四国 B ブロック 計				12	19
九州 A	鎮西学院大学附属図書館	8/25	鎮西学院大学附属図書館	4	8
九州 A	鎮西学院大学ぶっく倶楽部	9/28	鎮西学院大学附属図書館	4	13
九州 A	鎮西学院大学 菅原ゼミ	10/13	鎮西学院大学附属図書館	5	12
九州 A	鎮西学院大学佐藤ゼミ A	11/10	鎮西学院大学附属図書館	3	18
九州 A	鎮西学院大学佐藤ゼミ B	11/10	鎮西学院大学附属図書館	3	19
九州 A ブロック 計				19	70
九州 B	日本赤十字九州国際看護大学図書館運営委員会	10/1	Zoom	15	12
九州 B	北九州市立大学図書館	11/5	北九州市立大学図書館	5	17
九州 B	福岡女子短期大学文化教養学科 A	6/1	福岡女子短期大学	28	4
九州 B	福岡女子短期大学文化教養学科 B	6/1	福岡女子短期大学	28	3
九州 B ブロック 計				76	36
九州 C	鹿児島大学附属図書館 A	10/19	Zoom	3	9
九州 C	鹿児島大学附属図書館 B	10/26	Zoom	3	8
九州 C	鹿児島大学附属図書館 C	10/26	Zoom	3	10
九州 C ブロック 計				9	27

全国 A	千葉大学ビブリオバトル開催委員会 A	10/18	千葉大学西千葉キャンパス G4-42 教室	5	7
全国 A	宮崎大学附属図書館学生サポーター	11/4	宮崎大学附属図書館 +Zoom	3	8
全国 A	大東文化大学図書館	11/5	Zoom (ハイブリッド)	5	40
全国 A	九州女子大学家政学部人間生活学科	11/12	九州女子大学	51	122
全国 A ブロック 計				64	177
全国 B	鳥取大学 学生図書館ワーキンググループ	10/24	鳥取大学附属図書館 1F ラーニングコモンズ内	5	11
全国 B	聖学院大学総合図書館・図書館サポーター「セラエノ」共催	11/3	聖学院大学総合図書館	3	11
全国 B	個人開催 小野憲史	11/3	Zoom	6	7
全国 B ブロック 計				14	29
全国 C	北海学園大学人文学部田中綾ゼミ	10/11	北海学園大学豊平キャンパス 14 番教室	6	9
全国 C	近畿大学 KDIX	10/27	まちライブラリー@東大阪市文化創造館	6	7
全国 C	中部学院大学	10/24	中部学院大学関キャンパス グレースホール	5	28
全国 C	北海道情報大学 坂本研	11/4	Zoom	6	3
全国 C ブロック 計				23	47
全ブロック 計				1,445	1,725

表 2-3. 地区予選発表参加者 所属校一覧

北海学園大学	高崎経済大学	松山大学
北海道情報大学	高崎商科大学	徳島大学
山形大学	高崎商科大学短期大学部	福山大学
岩手県立大学	ヒューマンアカデミー秋葉原校	鳥取大学
東北大学	山梨英和大学	広島工業大学
東北学院大学	都留文科大学	広島市立大学
盛岡大学	金沢大学	広島大学
岩手大学	中部学院大学	広島修道大学
東北工業大学	人間環境大学	九州女子大学
東北福祉大学	皇學館大学	北九州市立大学
茨城キリスト教大学	名古屋大学	福岡女子短期大学
茨城大学	大阪府立大学	鎮西学院大学
常磐大学	神戸大学	日本赤十字九州国際看護大学
筑波大学	大阪国際大学	鹿児島大学
茨城女子短期大学	大阪工業大学	宮崎大学
育英大学	奈良女子大学	
育英短期大学	滋賀県立大学大学院	
城西大学	龍谷大学	
青山学院大学	大阪大学	
帝京大学	摂南大学	
千葉大学	大阪電気通信大学	
聖学院大学	近畿大学	
文教大学	奈良大学	
大東文化大学	帝塚山大学	
郡山女子大学短期大学部	四天王寺大学	
専修大学	大阪成蹊大学	
東洋大学	大阪成蹊短期大学	
國學院大學	大阪経済大学	
放送大学	奈良県立大学	
帝京大学教職大学院	甲南女子大学	
東京学芸大学	愛媛県立医療技術大学	
共愛学園前橋国際大学	島根県立大学	
情報経営イノベーション専門職大学	愛媛大学	

合計 81校

2-2 地区決戦報告

表 2-4. 地区決戦開催状況

ブロック	主催団体名	開催日	開催場所	発表者数(名)	観客数(名)
東北	海辺の図書館	11/19	せんだい 3.11 メモリアル交流館	5	18
関東 A	茨城県ビブリオバトル実行委員会	11/6	茨城県立図書館 視聴覚ホール	5	101
関東 B	帝京大学メディアライブラリーセンター	11/12	帝京大学メディアライブラリーセンター+Zoom	3	46
関東 C	株式会社紀伊國屋書店	11/3	紀伊國屋書店+Zoom	4*	50
中部内陸	山梨英和大学附属図書館	11/3	山梨英和大学附属図書館	3	22
東海 A	皇學館大学ビブロフィリア	11/17	皇學館大学 5号館 535 教室	3	8
北陸	金沢大学附属図書館	11/22	総合教育棟 A1 教室	3	25
関西 A	大阪工業大学知的財産学部、大阪工業大学ビブリオバトルサークル	11/23	大阪工業大学梅田キャンパス	4	15
関西 B	大阪経済大学図書館	11/19	大阪経済大学図書館	3*	26
関西 C	龍谷大学図書館ライブラリーサポーター	11/19	龍谷大学 深草キャンパス 和顔館 アクティビティホール	4	11
関西 D	生駒市図書館、生駒ビブリオ倶楽部	11/13	生駒市図書館 第2研修室	4*	9
中国 A	島根県立大学松江キャンパス 学生図書委員会	11/12	島根県立大学松江キャンパス 図書館	3	11
中国 B	広島県大学図書館協議会	11/15	広島大学霞図書館 セミナー室	4	14
四国 A	愛媛地区大学図書館協議会 ビブリオバトル愛媛地区決戦実行委員会事務局	11/5	愛媛大学 E.U. Regional Commons	5	16
四国 B	阿波ビブリオバトルサポーター	11/19	Zoom	3	10
九州 A	鎮西学院大学附属図書館	11/20	諫早市立諫早図書館	5	30
九州 B	福岡女子短期大学 文化教養学科	11/19	福岡女子短期大学	4	40
九州 C	鹿児島大学附属図書館	11/2	Zoom	3	8
全国 A	一般社団法人ビブリオバトル協会 A	11/13	Zoom	4	21

全国 B	一般社団法人ビブリオバトル 協会 B	11/13	Zoom	3	14
全国 C	ビブリオバトル北海道	11/20	Zoom	4	14
合 計				79	509

*地区決戦出場辞退者あり。

表 2-5. 地区決戦結果一覧

ブロック	チャンプ本 獲得者	大学名	地区決戦チャンプ本
東北	齋藤 優佳	郡山女子大学短期大学部 地域創成学科 1年	『その本は』 ヨシタケシンスケ、又吉直樹（著）
関東 A	佐々木 芽依	茨城女子短期大学 表現文化学科 1年	『赤ずきん、旅の途中で死体と出会う。』 青柳碧人（著）
関東 B	廣部 太一	國學院大學 人間開発学部 2年	『ボトルネック』 米澤穂信（著）
関東 C	塩田 美晴	帝京大学 文学部 3年	『君の話』 三秋縋（著）
中部内陸	渡邊 幸香	山梨英和大学 人間文化学部 4年	『私は幽霊を見ない』 藤野可織（著）
東海 A	中村 うた	皇學館大学 文学部 1年	『キリンに雷が落ちてどうする 少し考える日々』 品田遊（著）
北陸	野形 啓	金沢大学 学校教育学類 3年	『マネーボール』 マイケル・ルイス（著） 中山宥（訳）
関西 A	池田 紗良	大阪国際大学 人間科学学部 3年	『7.5グラムの奇跡』 砥上裕将（著）
関西 B	三垣 和香奈	大阪成蹊短期大学 グローバルコミュニケーション学科 1年	『君の臍臓をたべたい』 住野よる（著）
関西 C	小西 一穂	龍谷大学 文学部 3年	『ペスト』 カミュ（著） 宮崎嶺雄（訳）
関西 D	巽 悠介	摂南大学 法学部 3年	『変な家』 雨穴（著）
中国 A	福田 倫世	島根県立大学 人間文化学部 3年	『ドーナツを穴だけ残して食べる方法』 大阪大学ショセキカプロジェクト （編）
中国 B	鎌田 壮平	広島工業大学大学院 工学系研究科 2年	『リッツ・カールトンが大切に するサービスを超越の瞬間』 高野登（著）
四国 A	森實 陸	松山大学 経済学部 4年	『失われたドーナツの穴を求めて』 芝垣亮介、奥田太郎（編）
四国 B	多田 里穂	徳島大学 医学部 6年	『イラストで読む奇想の画家たち』 杉全美帆子（著）

九州 A	末吉 翔和	鎮西学院大学 現代社会学部 1年	『日本のメイドカルチャー史』 久我真樹（著）
九州 B	広石 輝	北九州市立大学 地域創生学群 3年	『銀河鉄道の父』 門井慶喜（著）
九州 C	豊永 未優	鹿児島大学 法文学部 3年	『B K Bショートショート小説集 電話をしてるふり』 バイク川崎バイク（著）
全国 A	山上 出雲	大東文化大学 文学部 3年	『同志少女よ、敵を撃て』 逢坂冬馬（著）
全国 B	藤本 滉一	聖学院大学 人文学部 2年	『まっぶたつの子爵』 イタロ・カルヴィーノ（著） 河島英昭（訳）
全国 C	長谷川 凜太郎	人間環境大学大学院 人間環境学研究科 2年	『俺ではない炎上』 浅倉秋成（著）

表 2-6. 特別枠一覧

ブロック	特別枠選出者	大学名	地区決戦紹介本
東北	山口 拓海	東北大学 文学部 1年	『必ずお読みください。』 一條裕子（著）
関東 A	横山 黎	茨城大学 教育学部 3年	『Message』 横山黎（著）
関西 D	川口 翔子	奈良女子大学 生活環境学部 3年	『BUTTER』 柚木麻子（著）
四国 A	池川 いづみ	愛媛県立医療技術大学 保健科学部 1年	『優しい死神の飼い方』 知念実希人（著）

3 本戦 開催報告

<本戦 開催概要>

日時：2022年12月25日（日）12:00～17:00

場所：明海大学 浦安キャンパス（千葉県浦安市明海1丁目）

主催：活字文化推進会議

共催：一般社団法人ビブリオバトル協会、ビブリオバトル普及委員会

主管：読売新聞社

発表参加者：25名

<プログラム>

12:00	開会式
12:30～14:30	準決勝 前半：準決勝①③⑤ 後半：準決勝②④ [同時講演] 谷口忠大（ビブリオバトル考案者） 「ビブリオバトルとコミュニケーション場のデザイン ～より良い出会いを作るために～」
14:45～	トークセッション [ゲスト] 浅田次郎さん（作家） 今村翔吾さん（作家）
15:45～	決勝
17:00	閉会式（結果発表・表彰式・記念撮影）

<準決勝>

表 3-1. 準決勝出場者・紹介本一覧（結果）

準決勝①：講義室 2201

ブロック	紹介本	バトラー	所属
関西 A	『7.5 グラムの奇跡』 砥上裕将（著）	池田 紗良	大阪国際大学 人間科学学部 3年
関東 A (特別枠)	『Message』 横山黎（著）	横山 黎	茨城大学 教育学部 3年
九州 A	『日本のメイドカルチャー 史』 久我真樹（著）	末吉 翔和	鎮西学院大学 現代社会学部 1年
★チャンプ本 四国 A	『失われたドーナツの穴を求 めて』 芝垣亮介、奥田太郎（編）	森實 陸	松山大学 経済学部 4年
全国 B	『まっぴたつの子爵』 イタロ・カルヴィーノ（著） 河島英昭（訳）	藤本 滉一	聖学院大学 人文学部 2年

準決勝②：講義室 2201

ブロック	紹介本	バトラー	所属
四国 A (特別枠)	『優しい死神の飼い方』 知念実希人（著）	池川 いづみ	愛媛県立医療技術大学 保健科学部 1年
関西 B	『君の臍臓をたべたい』 住野よる（著）	三垣 和香奈	大阪成蹊短期大学 グローバルコミュニケー ション学科 1年
東海 A	『砂糖菓子の弾丸は撃ちぬけ ない』 桜庭一樹（著）	中村 うた	皇學館大学 文学部 1年
東北 (特別枠)	『必ずお読みください。』 一條裕子（著）	山口 拓海	東北大学 文学部 1年
★チャンプ本 関東 B	『ボトルネック』 米澤穂信（著）	廣部 太一	國學院大學 人間開発学部 2年

準決勝③：講義室 2204

ブロック	紹介本	バトラー	所属
関西 C	『ペスト』 カミュ（著） 宮崎嶺雄（訳）	小西 一穂	龍谷大学 文学部 3年
関東 C	『君の話』 三秋縋（著）	塩田 美晴	帝京大学 文学部 3年
九州 C	『BKBショートショート小説集 電話をしてるふり』 バイク川崎バイク（著）	豊永 未優	鹿児島大学 法文学部 3年
全国 A	『同志少女よ、敵を撃て』 逢坂冬馬（著）	山上 出雲	大東文化大学 文学部 3年
★チャンプ本 中国 B	『リッツ・カールトンが大切にするサービスを超える瞬間』 高野登（著）	鎌田 壮平	広島工業大学大学院 工学系研究科 2年

準決勝④：講義室 2204

ブロック	紹介本	バトラー	所属
中部内陸	『私は幽霊を見ない』 藤野可織（著）	渡邊 幸香	山梨英和大学 人間文化学部 4年
★チャンプ本 北陸	『マネーボール』 マイケル・ルイス（著） 中山宥（訳）	野形 啓	金沢大学 人間社会学域 学校教育学類 3年
関西 D (特別枠)	『BUTTER』 柚木麻子（著）	川口 翔子	奈良女子大学 生活環境学部 3年
九州 B	『銀河鉄道の父』 門井慶喜（著）	広石 輝	北九州市立大学 地域創生学群 3年
中国 A	『ドーナツを穴だけ残して食べる方法』 大阪大学ショセキカプロジェクト（編）	福田 倫世	島根県立大学 人間文化学部 3年

準決勝⑤：講義室 2205

ブロック	紹介本	バトラー	所属
関西 D	『変な家』 雨穴（著）	巽 悠介	摂南大学 法学部 3年
関東 A	『赤ずきん、旅の途中で死体 と出会う。』 青柳碧人（著）	佐々木 芽依	茨城女子短期大学 表現文化学科 1年
東北	『その本は』 ヨシタケシンスケ、又吉直樹 （著）	齋藤 優佳	郡山女子大学短期大 学部 地域創成学科 1年
四国 B	『われ去りしとも美は朽ち ず』 玉岡かおる（著）	多田 里穂	徳島大学 医学部 6年
★チャンプ本 全国 C	『俺ではない炎上』 浅倉秋成（著）	長谷川 凜太郎	人間環境大学大学院 人間環境学研究科 2年

<決勝>

表 3-2. 決勝進出者・紹介本一覧（結果）

ブロック	紹介本	バトラー	所属
中国 B	『リッツ・カールトンが大切に するサービスを超える瞬間』 高野登（著）	鎌田 壮平	広島工業大学大学院 工学系研究科 2年
☆ゲスト特別賞 四国 A	『失われたドーナツの穴を求め て』 芝垣亮介、奥田太郎（編）	森實 陸	松山大学 経済学部 4年
☆グランド チャンプ本 関東 B	『ボトルネック』 米澤穂信（著）	廣部 太一	國學院大學 人間開発学部 2年
全国 C	『俺ではない炎上』 浅倉秋成（著）	長谷川 凜太郎	人間環境大学大学院 人間環境学研究科 2年
☆準グランド チャンプ本 北陸	『マネーボール』 マイケル・ルイス（著） 中山宥（訳）	野形 啓	金沢大学 人間社会学域 学校教育学類 3年

4 第13回全国大学ビブリオバトル本戦レポート

2022年12月25日。雲一つない青空の下、明海大学の浦安キャンパスで全国大学ビブリオバトル2022本戦が行われました。新型コロナウイルス感染症の影響で、オフライン開催はなんと3年ぶり。通算13回目となる今回の出場者は全国で開かれた予選で選出された25名です。



◆開会式

会場となっている明海大学の講堂にはたくさんのディスプレイがあり、過去の全国大学ビブリオバトルの様子が流れていました。三人席の並ぶ講堂にはたくさんの観客がおり、家族や友達同士と思われる方も見られました。久々のオフライン開催で会場全体がとてもワクワクしている雰囲気です。

流れていた過去の映像が終わり、いよいよ開会式です。司会進行は松竹芸能のカモシダせぶんさんと吉富さくらさん。カモシダさんは現役書店員芸人で、2013年からビブリオバトルにも関わっている方です。カモシダさんは自己紹介のあと、「知らない芸人でも拍手してくれる優しさ」と笑いを取っていました。本好き、ビブリオバトル好きばかりの会場では彼を知らない人も少なかったのではないかと思います。

活字文化推進会議主催のビブリオバトル大会ではお馴染みのテーマソングである高取ヒデアキさんの「presenter」をバックミュージックに始まった開会式では、出場者がお一人ずつ壇上に上がって一礼していきます。吉富さんが出場者の大学名とお名前を呼び、カモシダさんが一言紹介を挟みます。1ブロック分の出場者が壇上に揃うと、グループごとに観客席へと戻ることを繰り返します。全員の紹介が終わると、主催者を代表して、読売新聞社活字文化推進会議事務局長の東武雄さんからご挨拶がありました。三年ぶりの開催になるというお話の後、観客全体に向け、うちわを掲げ会場前方の出場者たちを応援するよう促しました。うちわを用いるのはオフライン開催ならではの投票方法です。また、決勝後に予定されているゲスト作家お二人のトークセッションにも触れ、クリスマスプレゼントになればとお話されました。

続いてビブリオバトル普及委員会の須藤秀紹代表も、この二年はオンライン開催でノウハウをためていたこと、予選にはオンラインのものもあること、そして三年前よりも横のつながりが強いコミュニティが醸成されているのではといった挨拶を述べました。

お二人の挨拶を終え、カモシダさんからビブリオバトルのルールと大学生大会のレギュレーションの説明がなされます。予定時間を5分程度押しつつ開会式は終了し、出場者と観客がそれぞれの準決

勝会場へ分かれて移動しました。ここからは、準決勝⑤とビブリオバトル考案者谷口忠大教授による講演が行われた、講義室 2205 の模様をお届けします。

◆準決勝⑤

開会式の後、部屋を移動して少し小さな講義室へやってきました。教壇側に入口があるタイプの部屋で、発表順を決めている最中の出場者の横を通り抜けて席に着きます。封筒に入った旗のような形のくじで順番を決めていました。講義室のほとんどの机は人で埋まっています。



こちらの司会はビブリオバトル普及委員会理事の飯島玲生さん。緊張していると言いながら、テキパキとルールとレギュレーションの再確認をしていきます。ゲームの前に、飯島さんが出場者全員のお名前を紹介し、会場の期待も高まります。どんな本を紹介してくれるのか、ワクワクしていると「みなさん、こんにちはー!」と元気な挨拶。お一人目の発表の始まりです。



◆『赤ずきん、旅の途中で死体と出会う。』（青柳碧人／双葉社）

元気な第一声のまま、勢いのある発表をはじめたのは茨城女子短期大学表現文化学科の佐々木芽依さん。真っ赤なパーカーに黒く短い髪、凛とした声で「皆さん、想像してみてください！ シンデレラ、ヘンゼルとグレーテル、眠り姫、マッチ売りの少女！ 悲しいお話だけど、彼女にとってはハッピーエンド。もしこの話で死体の出る事件が起こってしまったら？」と、びっくりマークが見えそうなハキハキした口

調べて一気に発表へと引き込んでくれました。童話ファンタジーとミステリーが融合しており、大まかなストーリーを知っているからこそトリック破りも犯人探しも楽しめることが強みだと力説します。タイトルに「死体」以外に隠れている秘密がある、と気になる一言で発表を終えました。会場から映画化予定だがキャストに推したい人がいるか問われ、誰が演じても素晴らしいだろうと答えていた様子からは作品への強い愛が感じられました。

◆『俺ではない炎上』(浅倉秋成／双葉社)

続くお二人目は人間環境大学大学院人間環境学研究科の長谷川凜太郎さん。誰にでも巻き込まれる可能性がある、と怖い導入から発表が始まりました。物語はタイスケが人を殺したと Twitter で呟いたことから始まります。タイスケとは誰なのでしょう。犯人として「特定」されたのはヤマガタタイスケというサラリーマンでした。しかし、このヤマガタタイスケは Twitter などしていないのです。周りが誰も信じてくれないなか、自宅には野次馬が押しかけ、興味本位の YouTuber から襲撃され、警察からも追いかけてられます。そこでタイスケは逃亡を決意し、真犯人を探し始めます。作者は「伏線の狙撃手」と呼ばれる浅倉秋成さん。タイスケの逃亡劇の開始と同時に作者と読者の心理戦も始まります。真犯人が見つかった後、真のミステリーが始まるそうです。作中にツイートが書かれており、リアルタイムで追いかけている気分や目線で読めると発表を締めます。

◆『われ去りしとも美は朽ちず』(玉岡かおる／潮出版社)

三人目の出場者は徳島大学医学部の多田里穂さん。前のお二人の発表時に積極的に質問していた方です。綺麗な絵の描かれた額を手に登壇します。製薬会社である大塚製薬は鳴門海峡の砂を用いて大判のタイルを作成する事業を始めますが、石油ショックが訪れ操業困難となります。そこで新たに始めたのが美術陶板です。世界の名画千点を陶板に描くのです。しかし問題となったのが、著作権、環境保護、行政、予算などです。問題は山積みで、会社と美術それぞれの立場で技術、知識、人脈を駆使します。絵画は劣化、風化、盗難、戦争などにより失われることもあります。偉人の名が後世に遺せないことは人類の損失です。三千年保存できる丈夫な陶板はノアの方舟のような意味を持ちます。ノンフィクションのあらすじを説明し、「作るアホウ」たちの物語ですと結びます。質疑応答で好きな登場人物を尋ねられ、男性優位の世界で矢面に立って戦う美術専門家の女性を挙げられました。

◆『その本は』(ヨシタケシンスケ, 又吉直樹／ポプラ社)

四人目は郡山女子大学短期大学部地域創成学科の齋藤優佳さん。静かな印象と凛々しく聞き取りやすい声で「よろしくお願ひします。皆さんにとって本とはどんなものですか?」と発表を始めます。物語は、目の見えない王が二名の側近に対し、珍しい本の話を集める旅に出すところから始まります。旅をして出合った珍しい本について、「その本は」と王に説明する形を取ったショートショートです。

この本を紹介する理由は三つあるといいます。まず一つは、この本一冊でたくさんのお本を知れること。次に、笑って泣けて考えさせられる、感情を動かされる本であること。そして最後に、本を読むことで自分と向き合える本だからだそう。本の本質は人それぞれ違うものですが、本と向き合うことで自分の根に気付いてほしいと発表を結びます。質疑応答では手に取った理由を尋ねられ、SNS で買って購入を検討していた際に、本屋でバーン! とコーナーになっていて、帯の言葉に惹かれて購入したと回答していました。

◆『変な家』(雨穴／飛鳥新社)

準決勝⑤最後の発表は摂南大学法学部の巽悠介さんです。「皆さーん、家、住んでますか?」と元気に発表を始めます。紹介されたのは家の間取りからはじまるホラーミステリーです。主人公は作者の雨穴さん自身で、ある日知人から購入予定の家について相談を受けます。本の表紙に掲載されているその間取りには、台所とリビングの間に謎の空間があります。間取りに詳しい栗原さんを巻き込み、その空間について考察していきます。ネット上で読まれ、面白いから本になった。だから、面白いんですよ!と巽さんは力説します。元マブログ記事だった本書はオモコロから丸々一章、50ページ以上を試し読みできます。対話形式で読みやすいですが、演劇仕立てのYouTube動画もあります。質疑応答では、お化けが出てくるようなタイプのホラーかと質問がありました。雨穴さんはホラーが苦手で、読んでいくと論理的に追い込まれていくタイプのホラーだそうです。

◆投票

準決勝⑤の出場者たちは皆、小道具を使ったり、身振り手振りが大きく印象的だったり、それぞれ味のある発表でした。ルールの再確認後、うちわを掲げて投票をします。

なんと、『俺ではない炎上』と『われ去りしとも美は朽ちず』がともに最多票を獲得しました。レギュレーションに従い、この二作品にて決戦投票となります。

◆決選投票・チャンプ本決定

一度目の投票より長い時間を取り、丁寧に得票数をカウントしていきます。二度の投票を経てチャンプ本に選ばれたのは、長谷川凜太郎さんの発表した『俺ではない炎上』でした。コメントを求められ、長谷川さんは「聞きながら聞いてくれて、緊張したけど嬉しかった」と一言。出場者だけでなく、観戦者もビブリオバトルを形作る大切なピースですね。司会者からこの後の予定が告知されいったん解散となりました。

◆谷口忠大(ビブリオバトル考案者／立命館大学情報理工学部教授)講演会

準決勝の数の関係で部屋が一杯空いてしまって、と初めから裏話気味な講演会でした。準決勝の裏企画ですが、部屋は満員でビブリオバトル考案者への注目度が伺えました。ビブリオバトルはゲームであることが大切で、知識のある「大人気ない大人」がムキになるところが面白く、フィードバックがあるとモチベーションとなりハマること、ゲームの良さはやってもやらなくてもよいことで、強制されるとモチベーションが下がることなどをスライドとともにお話しされています。読書推進についても上から目線で推進するのではなく、ゲームとして楽しむことが大切であるとお話しされていました。



◆ふたたびメイン会場へ

準決勝を終え、各教室からメイン会場に参加者たちが戻っていきます。開会式のときよりも混んでいる印象で、長い四人席の真ん中もだいぶ埋まっているようでした。明海大学の学長から、会場校を代表してのご挨拶を挟み、ゲスト作家によるトークセッションの時間となります。

◆ゲスト作家トークセッション



着物姿の浅田次郎先生とグレーのスーツ姿の今村翔吾先生のお二方を壇上に迎え、トークセッションが始まります。はじめの挨拶では浅田次郎先生が「本はすべての知識の源」、今村翔吾先生が「大学生から社会人で読書離れしており、小学校から高校までの朝の読書習慣は他の娯楽に負けている」と少しヒヤッとする言葉から始まりました。

このトークセッションは、大学生大会の出場者たちから先生方への質問に答える形で進行されました。一つ目の質問は、「小説のネタはどんなときに思いつくか」でした。浅田次郎先生は、ネタという表現は文章芸術と合わない、としつつも移動中や体を動かしているときに思いつくことが多いと回答します。続いて今村翔吾先生は新聞を読んでいるときなど、他のものに触れているときに思いつくと回答します。次の質問は、「いつから作家になりたかったか」でした。これにはお二人とも中学二年生頃と回答します。お二人とも他人の書いた本を読んでいる際に、自分ならこう書くのにと考えていたそうです。

続く「作家になるには何からすればよいか」という質問には、徹底的に本を読むことと体力をつけることを挙げられました。さまざまな質問に答えていただき、あっという間の45分でした。

◆決勝戦

いよいよ待ちに待った決勝戦です。全員の紹介が終わると、準決勝を勝ち上がった出場者たちが机の上の封筒を取ります。過去に3番が2枚出て小説化されたエピソードもあるあのくじです。2…3…1…5…4と全員分が出揃いました。決勝戦は質疑応答が3分間になること、ゲスト作家のお二人や谷口忠大教授も質疑応答に参加される旨が説明されます。出場者は一度全員席に戻り、改めて一人目の出場者が音楽とともに壇上に上がります。



◆鎌田壮平さん『リッツ・カールトンが大切にしているサービスを超越する瞬間』（高野登／かんき出版）

「はい！トップバッターからかましていきます！」と勢い十分に話し始めたのは広島工業大学工学系研究科の鎌田さん。旅行好きだが宿泊にお金をかけずにいたあるとき、一万二千円のサービスを受け感激したこと、もっと上のサービスを受けてみたくなったことを熱を入れて話します。「お金がなくても、一流のサービスを本で知りたい」とこの本に辿り着いたのだそう。楽しそうな顔と聞き取りやすい声で次に語るのはビーチ清掃員の話。あるとき利用者から浜辺に椅子を残してほしいと頼まれた清掃員は、状況を察しシャンパンと布を用意します。結果、プロポーズは大成功したという「サービスを超越する瞬間」のエピソードです。彼の仕事は清掃であり、頼まれたことは椅子を置いておくことだけです。しかし彼はなぜそう依頼されたのか、お客様の口にされていない要望はどんなものかを考えこのようなサービスを提供しました。これは会社全体に共通の信念があるからサービスを行えた好例と言えます。サービス業に限らず、人との接し方の指南書としてぜひお読みいただけたらとのことでした。どのように日常生活に活かすかという質問には、友人の求めるものを察して接するよう心がけているとの回答でした。

◆森實陸さん『失われたドーナツの穴を求めて』（芝垣亮介、奥田太郎／さいはて社）

決勝戦二人目の発表は松山大学経済学部の森實陸さんです。Windowsにはじめから入っている壁紙や教科書みたいなツルツルした表紙のその本は、大学図書館のベストセラーの棚から見ただけで選んだ本だといいます。これは大学教授をしている友人たちで集まってドーナツの穴についてそれぞれ

の専門分野から語り、それを本にしたものです。歴史、経済など内容は多岐にわたります。この本はさまざまな専門分野から書かれており、目次だけ読めば面白さが伝わるからとビブリオバトルへの出場を決めたそうです。学術的な話の合間にドーナツ屋となった元ホームレスのエピソードなども挟まります。この本の魅力は、大学の授業の第一回みたいな面白さが続く本であることです。最後の1分間でこの本には穴が空いているという話をされました。何の研究でなくても、お金にならなくても面白いと伝わる、やってみたら面白いことを細かくやっていて、本の穴は手作業で開けているそうです。質疑応答で、無駄は必要だと思われか問われると、大事なことと思っている、余剰が人間らしいものだと思うとの回答でした。おすすめの章は哲学の章だそうで、ドーナツの穴は本当にあるのかを夜寝るときに考えてしまうほど印象に残っているそうです。

◆廣部太一さん『ボトルネック』(米澤穂信／新潮社)

國學院大學人間開発学部から参戦した廣部さんの第一声は「アツイ話をしにきました!」。「何のために生きている? ネガティブな人はそういうことをよく考えている」と続きます。パラレルワールドにパツとしない男が飛ばされるどころから話が始まります。ですが、なぜかパラレルワールドでは本来自分がいるはずの場所に明るい女の子がいます。スタートは同じ世界なのにさまざまな違いがあり、男はやがて元の世界の嫌なことも立ち向かえばよかったのかと考え始めます。タイトルのボトルネックは瓶の中身が詰まって出てこない状態から取ったものです。読んでいる人の気持ちによって結末が動く本であり、自分の人生について話すために読んでと話をたたみました。質疑応答では作家の今村翔吾先生から、物語の結末を知りたいか、作者の米澤穂信先生に電話して聞こうかと笑いを取りつつ尋ねられていました。聞かないでいたいと思っていたが、聞いた上で「いや、違う」と言いたいと思ったそうです。熱量の伝わる発表で笑いのなかに終わりました。

◆長谷川凜太郎さん『俺ではない炎上』(浅倉秋成／双葉社)

四人目の発表は、準決勝⑤を制した人間環境大学大学院人間環境学研究科の長谷川さんです。「こんにちは」と元気な挨拶からサクサクと2分ほどであらすじの説明を終えます。人の怖さ、SNSの怖さを描きながら最後まで読むと、人を信じなくなる読後感とのこと。質疑応答では、特定の誰かを信じなくなったかと尋ねられ、「もし、父が人を殺して逃げたら?」と読んで考えてほしいと答えていました。

実は昨年(2020年)の代替大会として行われた「大学ビブリオバトル・オンライン大会 2021」でグランドチャンピオンを獲得している長谷川さん。大会初の連覇がかかっています。

◆野形啓さん『マネー・ボール』(マイケル・ルイス(著)、中山宥(訳)／武田ランダムハウスジャパン)

決勝戦最後の発表は金沢大学人間社会学域学校教育学類の野形さん。「人はジーンズを売っている、(司会の)カモシダさんに売られた」と気になる導入から話し始めます。メジャーリーグを舞台にした実話で、優れた選手をお金で買うマネーゲームのお話です。「ジーンズを売らない男」が主人公で、ある共通点のある人を集めた弱小貧乏チームの勇気を与えてくれる話や、元々持っているお金の多さが努力を上回る社会、親ガチャ等にも触れていきます。単なる野球チームの話ではなく、不公平な世界の縮図である金と野球があなたの人生を輝かせるでしょうと話を終えます。フックになるような言葉が多

い発表で、聞いていてドキッとする場面が多々ありました。準決勝、決勝を通して「ジーンズを売る」とは何かを引っ張り続け、フェイントをかけたつ答えは本にある、と読みたくなるように計算された発表でした。質疑応答では好きなキャラクターを尋ねられ、太ったギリシャ人や駐車場のカラーコーンを挙げていました。

◆集計

16時33分。全ての発表が終わり、ドキドキの集計タイムがやってまいりました。一人一回、読みたくなった本にうちわを掲げます。真冬の教室にたくさんのうちわが並びます。うちわを掲げていると、観戦者の数がさらに多く見え圧巻でした。出場者は一度退出し、集計を終えると16時48分から結果発表が始まります。この15分はソワソワして落ち着かず、だいぶ長く感じました。

◆グランドチャンプ本

集計の結果、第13回全国大学ビブリオバトルのグランドチャンプ本は、國學院大學人間開発学部の廣部太一さんが発表された『ボトルネック』に決定しました。トロフィーの他に、副賞として読書教養講座講師の桐野夏生先生の『燕は戻ってこない』、宮下奈都先生の『羊と鋼の森』、柚月裕子先生の『ミカエルの鼓動』の直筆サイン本の贈呈があり、司会のカモンダさんから「羨ましい」との声も上がりました。グランドチャンプ本を獲得した廣部さんは、高校生の頃出場した大会で今日森實さんが発表したのと同じ『失われたドーナツの穴を求めて』に負けてチャンプ本を逃したそうで、ドーナツリベンジになったと笑みを浮かべていました。



準グランドチャンプ本は金沢大学人間社会学域学校教育学類の野形啓さんが紹介した『マネー・ボール』、特別賞には松山大学経済学部の森實陸さんが紹介した『失われたドーナツの穴を求めて』がそれぞれ選ばれました。

◆ゲストの感想

今村翔吾先生は「作り込んだプレゼンに惹かれる。観ている人が変わればまた結果が違ったかも」、浅田次郎先生は「情熱が伝わってきた。これは面白かったぞーって。本を売る一番の仕組みは宣教師の数。ロコミの基本を表現しており、本の作り手から見てありがたかった。若者がいろんな形で本を熟読し熱愛してくれていることに力をもらった」、谷口忠大教授は「面白いと思った本の宣教師になって、読んだ人同士で話すことまで含めビブリオバトル」、読売新聞社の山口寿一代表は「ビブリオバトルほど大きな手応えのある読書イベントはない。読売新聞はこれからもビブリオバトルを盛り上げて参ります」と感想を話されました。



◆お家に着くまでが大学ビブリオバトルです

投票用のうちわは来年以降も再利用するそうで、机の上に残していくようアナウンスがありました。赤青のうちわに見送られて、長かった一日が終わります。終了後は、一部スタッフで打ち上げを行いました。ビブリオバトルの後、直接話ができるのはオフライン開催ならではの良さですね。帰り道では駅の小さな本屋さんに立ち寄って、今日読みたくなった紹介本を数冊買って帰りました。購入しそびれてしまった発表本は後日改めて探しに出かける予定です。

私はレポートを書く以外はほぼ観客として見ていただけなのですが、どの本も出場者もとても魅力的でした。ビブリオバトル普及委員会の公式 Twitter では、リアルタイムで「#大学ビブリオバトル2022」のタグをつけた投稿があり、そちらも見ていて面白かったです。私のツイートもいくつか反応されていて、観戦者もビブリオバトルの参加者だもんなと楽しく感じました。

最後になりますが、出場者として素敵な本をご紹介くださった皆様、観戦・投票を通じてご参加して下さった皆様、楽しい大会を企画・運営して下さった皆様、本当にありがとうございました。来年もその先も、ビブリオバトルがたくさんの人々にとって楽しいゲームでありますことを願っております。

(ビブリオバトル普及委員会 副情報局長 岡野海)



5 記録

5-1 ちらし・ポスター素材

**全国大学
ビブリオバトル**

2022.
12/25(日)
12:00開会

**ファイナルステージ
in 浦安**
2022

観覧者募集
募集定員 **500人** 締切 **12/14(水)**

**中学生以上
対象**

会場
明海大学
浦安キャンパス
(千葉県浦安市明海1)
JR京葉線新浦安駅下車、徒歩8分

全国大学ビブリオバトルが復活します。
舞台は、明海大学。
ゲストに浅田次郎氏、今村翔吾氏を迎えます。
クリスマスにステキな一冊との出会いを!

【お問い合わせ】活字文化推進会議事務局 ☎03-3217-4302(平日午前10時~午後4時)

主催:活字文化推進会議 共催:ビブリオバトル普及委員会、ビブリオバトル協会 特別協力:明海大学 協力:松竹芸能
主管:読売新聞社 後援:文字・活字文化推進機構、日本書籍出版協会、日本書店商業組合連合会、大日本印刷、文部科学省

新型コロナウイルスやインフルエンザなどに関する諸注意

- ご参加の際はマスク着用のご協力をお願いします。せきや発熱などの症状がある方は入場をご遠慮いただく場合がございますので、ご了承ください。
- 新型コロナウイルス感染状況により、開催形式の変更や観覧者数の制限など運営方法の見直しのほか、各種証明書提示など追加の感染対策を大会出場者と観覧者に求める可能性がございますので、あらかじめご了承ください。

全国大学 ビブリオバトル

ファイナルステージ
in 浦安
2022

ゲスト

浅田次郎氏

(作家、活字文化推進会議委員長)
1951年東京都生まれ。1995年『地下鉄に乗って』で吉川英治文学新人賞。97年『鉄道員』で直木賞。最新刊は『母の待つ里』。



今村翔吾氏

(作家)
1984年京都府生まれ。2020年『八本目の槍』で吉川英治文学新人賞。2022年『塞王の桶』で直木賞。

司会

カモシダセぶん
(松竹芸能)



吉富さくら
(松竹芸能)



【地区決戦主催団体】

海辺の図書館(東北)
茨城県ビブリオバトル実行委員会(関東)
帝京大学メディアライブラリーセンター(関東)
株式会社紀伊國屋書店(関東)
山梨英和大学附属図書館(中部内陸)
皇學館大学ビブフィリア(東海)
金沢大学附属図書館(北陸)
大阪工業大学知的財産学部/大阪工業大学ビブリオバトルサークル(関西)
大阪経済大学図書館(関西)
龍谷大学図書館ライブラリーサポーター(関西)
生駒ビブリオ倶楽部、生駒市図書館(関西)
島根県立大学松江キャンパス学生図書委員会(中国)
広島県大学図書館協議会(中国)
愛媛地区大学図書館協議会 ビブリオバトル愛媛地区決戦実行委員会事務局(四国)
阿波ビブリオバトルサポーター(四国)
鎮西学院大学附属図書館(九州)
福岡女子短期大学(九州)
鹿児島大学附属図書館(九州)
一般社団法人ビブリオバトル協会(全国)
ビブリオバトル北海道(全国)

プログラム

- 12:00～ 開会式、バトラー紹介、主催者挨拶(講義棟2F 2206)
12:30～ 準決勝①～⑥(講義棟 講義室)
14:45～ トークセッション(講義棟2F 2206)
浅田次郎氏(作家)、今村翔吾氏(作家)
15:45～17:15 決勝・表彰式

応募方法

QRコード®からwebにアクセスの上、お申し込みください。➡



メールアドレスから申し込む場合は、➡ ✉ katsuji@yomiuri.com
下記項目を明記してください。

- ①全国大学ビブリオバトル聴講希望 ②郵便番号、住所
③氏名・ふりがな・年齢 ④職業 ⑤電話番号

※応募者多数の場合は抽選の上、当選者には聴講券を送ります。発表は発送をもって代えさせていただきます。

※応募いただいた個人情報は事務局にて厳正に管理し、緊急の連絡のみに使用いたします。

※二人以上の連名でお申し込みの場合は必要事項を全員分ご記入ください。

※講座中に会場内の写真・映像撮影を行います。読売新聞などの媒体、子どもゆめ基金への報告や団体広報に掲載することがあります。ご承諾いただきますようお願いいたします。

※小学生以下の御来場も可能ですが、保護者の同伴が必要です。

※専用の駐車場、駐輪場はありません。ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

※キャンパス内は全面禁煙です。

ビブリオバトル普及委員会のご案内

ビブリオバトル普及委員会は、知的書評合戦ビブリオバトルをより広く普及させる事を目的として活動する任意団体です。主催や参加、見学、取材のご相談などは、お気軽に下記までご一報ください。

連絡先

メールアドレス : info@bibliobattle.jp

公式ウェブサイト : <http://www.bibliobattle.jp/>

役員

- (理事・代表) 須藤秀紹 (近畿大学情報学部)
- (理事・副代表) 小林秀高 (拓殖大学北海道短期大学農学ビジネス学科)
- (理事・副代表) 坂本牧葉 (北海道情報大学情報メディア学部情報メディア学科)
- (理事) 飯島玲生 (名古屋大学)
- (理事) 佐々木奈三江 (徳島大学附属図書館)
- (理事) 益井博史 (一般社団法人ビブリオバトル協会)
- (理事) 佐藤慧 (ビブリオバトル普及委員会普及委員)
- (理事) 榎村真由 (ビブリオバトル普及委員会普及委員)
- (理事) 磯谷梨紗 (学校司書)
- (理事) 永野舞子 (ビブリオバトル普及委員会普及委員)
- (監査役) 大川真司 (大川公認会計士・税理士事務所)

地区代表

地区名	地区代表者、副代表者名
北海道	小林 秀高 (副) 永野 舞子
東北	貝森 義仁 (副) 戸澤 香奈
関東	瀬部 貴行 (副) 市川 紀子
北陸	藤野 秀則 (副) 本吉 達郎、(副) 鎌田 康裕
中部内陸	荒戸 寛樹
東海	飯島 玲生 (副) 岡野 裕行
関西・中国	益井 博史 (副) 水野 五郎
四国	西村 浩子 (副) 佐々木 奈三江
九州	佐藤 慧 (副) 林 鉄郎

会員 499名 (2023年2月8日現在)

新規会員の募集について

ビブリオバトル普及委員会は、ビブリオバトルの普及を通して、世の中のコミュニケーションや知識共有、人々のつながりを活性化させることを目的としボランティアで活動しています。入会を希望される方は、入会申請フォームをご確認の上、お申込みください。

入会申請フォーム : <https://www.bibliobattle.jp/aboutus/admission>